

令和7年度第7回教育研究評議会議事録

日 時 令和7年10月8日(水)
開会 午後3時00分
閉会 午後3時41分
場 所 第1会議室(オンライン会議併用)

出席者 榮坂学長、長谷山理事長、米澤理事、村田副学長、川口副学長、平山副学長、
川村副学長、星野副学長、森田教授、新井教授、佐藤教授、八久保教授、
黒河教授、大津教授、澤田教授、内島教授、三浦教授、奥山事務部長、
升井教授

欠席者 南教授、榊井教授、高橋教授、小西教授
陪 席 柏木監事、布施監事、伊藤監事、近藤監事

議 事

1 教員の選考について

(1) 情報通信系教授又は准教授の選考について

学長から、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長代理の黒河教授から別紙(資料1-1-1～1-1-2)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第6条第2項の規定に基づき可否投票を行った。

投票の結果、エロネン ユーソ カレビ クリスティアン氏が准教授適格者として、承認された。

なお、審議において次の質疑応答があった。

・応募者Cは本学教員と研究分野が被るため担当授業について心配があるという点を面接で確認することとなっているが確認したのか、との質問があり、面接にて問題ない旨確認したとの回答があった。

・応募者Aについて、日本語能力がないだけで優秀な研究者を受け入れることができない状況なのは惜しいのではないかと、との質問があり、確かに日本語能力がないだけで受け入れることができないのは惜しいが、本学の現状では学務を担当する都合上、日本語能力は必要であり、研究のみでの採用は難しい状況であるとの回答があった。

(2) 基礎教育系准教授選考委員会の設置について

学長から、基礎教育系長から教員選考の申し出があり、令和7年9月29日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、別紙(資料1-2)に基づき選考委員会の設置について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

2 大学院担当教員の選考について

(1) 准教授の博士後期課程主指導教員の選考について

学長から、令和7年9月29日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、別紙(資料2-1、参考資料)に基づき説明の後、可否投票を行った。

投票の結果、申し出のあった邱 泰瑛氏が大学院担当教員(D合)として承認された。

(2) 情報通信工学プログラム、共創工学専攻

学長から、議題1－(1)で審議のあったエロネン ユーソ カレビ クリスティアン氏の大学院担当教員の選考について提案する旨説明があり、別紙(資料2－2)に基づき説明の後、可否投票を行った。

投票の結果、エロネン ユーソ カレビ クリスティアン氏が大学院担当教員(M合及びD合)として承認された

3 大学院担当教員の資格再審査について

学長から、大学院担当として5年を経過する教員の資格再審査に報告があった旨説明の後、村田副学長から別紙(資料3、参考資料)に基づき説明があり、種々議論の結果、承認された。

なお、審議において次の質疑応答があった。

・議題2(1)で承認された邱 泰瑛氏が資料内に記載されているが、この資格再審査を通した上で大学院担当教員(D合)が付与されているという状況で間違いないか、との質問があり、そのとおりであるとの回答があった。

4 大学院担当教員資格再審査に関する申合せ等の改正について

学長から、令和7年10月6日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、村田副学長から別紙(資料11－1～11－2)に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

報告事項

- | | |
|--|----------|
| 1 令和8年度概算要求事項について(資料4) | (管理課長) |
| 2 「北海道国立大学機構における大学発スタートアップ企業の認定
に関する申合せについて(資料5－1～5－2、参考資料) | (研究協力課長) |
| 3 令和7年度科学研究費助成事業の採択状況について(資料6) | (説明無し) |
| 4 令和7年度共同研究の受入れについて(資料7) | (説明無し) |
| 5 令和7年度受託研究の受入れについて(資料8) | (説明無し) |
| 6 令和7年度奨学寄付金の受入れについて(資料9) | (説明無し) |
| 7 データサイエンスプログラムの担当教員について(資料10) | (説明無し) |

次回教育研究評議会 令和7年11月5日(水) 午後3時00分開催予定